



滋賀県立
男女共同参画センター
情報誌
2022.10 vol.43
G-NETしが
滋賀県立男女共同参画センター

情報誌

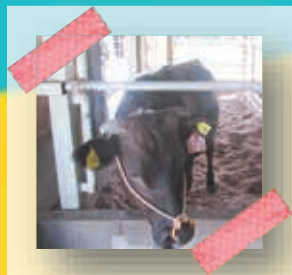


We Create a Bright Future!

CONTENTS

特集：視点を变える

- 東近江バイオレッツ
- 県立長浜農業高等学校
- 女性の起業応援
- 講座REPORT
- 若者の活動
- 本で学ぶ
- 女性活躍のために
- INFORMATION



Information

G-NETしが

滋賀県立男女共同参画センター“G-NETしが”
男女共同参画相談室

みな はなさく
☎0748-37-8739

受付時間

火、水、金、土、日
9:00~12:00、13:00~17:00
木 9:00~12:00、17:00~20:30
(祝日の翌日・年末年始・施設点検日等を除く)



ひとりで悩まないで まずはお電話ください。
一緒に考えていきましょう。



相談は無料です。秘密は守ります。



総合相談

- ◆ 電話相談 ◆
- ◆ 面接相談 ◆

専門相談

- ◆ DVカウンセリング ◆
- ◆ 法律相談 ◆
- ◆ 男性相談員による男性相談 ◆

滋賀県
こころのサポートしが
LINE相談



左のQRコードから
LINEの友だち登録を
すると相談できます。

<相談時間>

毎日 16:00~22:00



〒523-0891
滋賀県近江八幡市鷹飼町80-4
【開所時間】午前9時~午後9時
【休所日】月曜日(祝休日除く)、
祝休日の翌日、年末年始、施設点検日等

【TEL】0748-37-3751
【FAX】0748-37-5770
【E-Mail】g-net@pref.shiga.lg.jp

貸館利用者募集



500人収容の大ホール

当センターでは、大ホールや
研修室、日本庭園のある
茶亭などをお貸しして
います。是非、お問い合
わせください!

※当センター主催の講座や相談に参加される場合、
無料託児をご利用いただけます。



アクセス

JR近江八幡駅下車南口より500m または
JR近江八幡駅南口から近江バス「男女共同参画センター前」下車



滋賀県立男女共同参画センター情報誌vol.43
発行日/令和4年10月1日
編集・発行/滋賀県立男女共同参画センター



女子野球から考える 男女共同参画

東近江バイオレッツ

特集 01

8月2日、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で、第26回 全国高校女子硬式野球選手権大会の決勝が行われました。昨年に引き続き、2年連続での甲子園決勝開催となりました。
滋賀県にも、女子野球で活躍されているチームがあります。

東近江バイオレッツ

東近江市を拠点に活動する滋賀県の女子硬式野球社会人クラブチーム、『東近江バイオレッツ』。
「地域に住み、地域で働き、野球で日本一を目指す」チームとして、地域のみなさんと交流しながら活動されています。



みなさんの周りには、「普通」「当たり前」と思っている自分の基準で考えてみると、「?」と思うようなことがありますか。しかし、それは、あくまでも「あなた」の中の基準で決めつけてしまっているから起こることなのかもしれません。
自分の中にある「こうだ!」と思っている決めつけや基準について、少し周りを見渡しながら考えてみませんか。

野球をはじめたきっかけは?

戸室さん(以下 戸) 兄と祖父の影響で野球を始めました。小さなころから野球が遊びでした。

平井さん(以下 平) 兄2人が野球をやっている影響を受けました。周りの子がサッカーをしていたので、はじめはサッカーをやっていたのですが、やってみたら楽しくて「野球がやりたい」となりました。



今回お話を伺ったおふたり



戸室 ちなみさん
#10 内野手



平井 なおさん
#27 捕手

学生のころはどのように過ごしていましたか?

〈小学校〉

戸 兄がキャッチャーだったので、ピッチング練習をしたり、公園で壁あてをしていました。一年生からちびっこ大会に出ていて、その時は他にも女の子が3人いましたが、四年生で少年野球チームに所属したのは一人でした。

平 三年生の夏に、兄について一緒に行ってたチームの監督に声をかけてもらってチームに所属しました。小学生の頃には、野球をすること、続けていくことは夢になっていました。



〈中学・高校〉

戸 平日は、男子野球部で練習していました。女子は一人でした。中高一貫校に進学したので、中学生としては一人でしたが、高校にも一人おられて、中学校の方で練習してくださったので、一・二年の時には大きな存在でした。土日は、女子の硬式野球で練習をしていました。

当時、困ったことは着替えてました。男子はその辺で着替えをしますが、その辺で着替えることはできないので、すぐに着替えられなかったり、トイレで着替えたりする必要がありました。また、思春期のためか、こちらが気にしていなくても男子は気になったようで、二人一組でするペアストレッチのときは、ペアになれずに一人でしていました。



平

ボーイズ(クラブチーム)で活動していました。中学校進学時に軟式か硬式かで迷いましたが、高校では硬式になるので、硬式に決めました。それまで、ピアノなど習い事は続かないことが多かったのですが、野球についてはやめるという考えはありませんでした。生活の一部になっていました。この間も兄2人が練習を見たり、教えたりしてくれました。

チーム内の同級生にあと2人女子がいましたが、他チームにはいなかったのが、珍しかったかもしれません。思春期特有で男子が女子を避ける行動があり、女子の隣に並ばないようになり、しゃべらないようにすることが多かったです。一対一だと話してくれましたが、周りのからかひがあり、恥ずかしさからか周りの目を気にしての行動だったのだと思います。

高校は女子野球部のある高校に進学しました。実家の地元にも女子野球部のある高校はありましたが、他の高校も調べて、いろいろ実際に見に行つて京都の高校を選択して進学しました。

高校時代には進路について、野球をあきらめないといけないと思つたこともありませんが、プロになつたが、プロになつたという夢に向かつてテストを受けました。



やりがい・達成感を感じるのにはどんなとき？

戸 できなかったことが練習してできるようになることです。野球はひとりではできません。みんながチーム一つになれること、全員で何かをやり遂げられるとやりがいを実感できます。

平 学校のテストなどと違ってすぐには結果がでないからこそ、結果がでたときには達成感ややりがいを感じます。今までできなかったことができるようになったり、試合に勝てたりすることも達成感があります。

ジェンダーの視点から
気づかれたことは？

戸 サービスエリアなどの女子トイレを利用すると「えっ？」という顔をされたり、トイレの標識を確認されたりすることも多いです。また、小学校の低学年など小さい子どもからは

「どっちなん？」「男の人？女の人？」と聞かれることがよくあるので、その度に「女の人だよ。」と答えています。

「何のスポーツをやっているの？ソフトボール？」と聞かれ、「野球です」と答えているのに、「ソフトボールじゃないの。」と言われることがあります。女子がこのスタイル(ユニフォーム)でするのはソフトボールというイメージがあるのかもしれませんが。今は、女子高校野球も甲子園で決勝戦が行われたり、春の大会は東京ドームで決勝が行われたりするようになりました。男子チームが減っている中で女子チームは増えてきています。強豪校が女子チームも作るようになったり(ユニフォームも同じ)、クラブチームも(プロ野球12球団も)増えてきたり女子野球が盛り上がってきていて、認知されてきていると感じています。



これからの社会に望むこと

戸 男女関係なく、固定的偏見をなくしていきたい、誰もが生きやすい社会になってほしいです。野球も、サッカーも、その他のスポーツも性別にかかわらずなくやっていい、これが当たり前になつていくようになることを望んでいます。同じスポーツでも女子にしかないプレイスタイルや雰囲気もあります。スポーツはスポーツ、偏見なくやっていけたらいいと思います。

平 社会的には、以前と比べると男女の壁が薄くなってきている部分もあると思いますが、まだ、壁を作っているものや根強くジェンダーバイアスもあります。女子だから、男子だからではなく、誰もが幸せに暮らせることを望みます。できるはずのものもできないと決められてしまうような壁がなくなればいいと思います。

最後に、これから将来を切り拓いていく子どもたちへのメッセージをお願いします

戸 周りに何かを言われたとしても、自分のやりたいことを貫き通して、やりたい道を進んでほしいです。それによって、周りも変わっていきます。自分の思うようにやりたいことをやってほしいと思います。

平 自分がやりたいことを素直にやってほしいです。周りの批判や無理というような声もあるかもしれませんが、自分のやりたいことをやってみる方がいいと思います。やってみて失敗することもあります。でも、その失敗はそのあと必ず自分の役に立ちます。自分の人生だからこそ、自分のやりたいことをして失敗したとしても学ぶことがあります。まっすぐに自分を信じてやってみてほしいと思います。

平 野球は男子のスポーツだと思われていて、男子の野球に比べると女子の野球はまだまだ知られていません。女子野球をしていると言つと、「えっ、女子野球？」と言われます。また、「男子に比べると、レベルが低い(スピードや力など)」と言われることもありますし、そういった声を聞くことも少なくありません。一生懸命やっているのを見てもらうことで、見方を変えてもらえることもあります。「初めて見たけど、おもしろい。」「女子ならではの良さがある。」と言つた声もいただくようになりました。女子にしかないいい部分がたくさんあります。男とか女とかそういうところがなくなるといいと思っています。



農業高校から考える

男女共同参画

特集 02

滋賀県立長浜農業高等学校



「農業高校は男子生徒が多い」というイメージを持たれている方も少なくないのではないのでしょうか。昨年、出前授業でお伺いした農業高校二校で「近頃は女子生徒の方が多いですよ。」とお聞きし、ぜひ、お話を伺いたいとお願したところ、今回、滋賀県立長浜農業高等学校の生徒のみなさんにお話を伺うことができました。

校門を通ってから校舎までは700メートル。校門から美しい木々に見守られながら、道を進むと、広大な敷地が広がっています。

長浜農業高等学校

長浜農業高等学校には、「農学科」「園芸科」「食品科」の三つの学科があります。各学科にはそれぞれ三つの分野があります。

「**農学科**」は、「食料生産分野」「**食農振興分野**」「**動物科学分野**」があります。「**園芸科**」には、「草花分野」「**果樹分野**」「**野菜分野**」があります。「**食品科**」には、「**農産物利用分野**」「**製菓・製パン分野**」「**畜産物利用分野**」があります。

ります。寄ってきてくれる動物たちがいるのでやりがいがあります。

○世話をしている動物たちと仲良くなれます。ちゃんと世話をすると懐いてくれるし、特に警戒心が強く人になかなか近づかない仔牛が人に慣れてくると嬉しくなります。

たいへんなことは どんなことですか？

○特につらい、しんどいと感じることはないです。体力的にと言われると、^{※1}ボロ出し(糞尿の片付け)は重いのでたいへんです。特に夏は匂いもきつくなります。下に敷いているおが屑が肌についていたり、気管に入って苦しくなったりすることもあります。

○特にたいへんだと思っていることはありません。精神的にと言われると、動物たちが嫌がっていると分かるけれどもやらなければならぬことはつらいです。例えば、身体測定は体重計に乗

この雄大な自然の中で特色あるカリキュラムのもと、学校生活を送っておられる生徒の皆さん。夏休み中とはいえ、命ある動植物に関わっているため、作業されていた『**農学科動物科学分野**』と『**食品科製菓・製パン分野**』の生徒の皆さんにお話を伺いました。

01 農学科動物科学分野 進路選択のきっかけは？

○将来、犬(動物)に関係する仕事をしたいと思っていて、将来やりたいことを絞るためにこの学校に進学しました。○将来、動物に関わる仕事をしたいと考えていたので、詳しく学びたいと思いました。

ることを嫌がります。特に除角^{※2}や鼻かん(鼻につける金具)や耳タグをつけるのは目に見えて嫌がるのでつらいです。

ジェンダーの視点から 男女に分かれて作業することはありますか？

○作業は男女平等に割り振られるので、学校の中で男子、女子で分けられることはありません。



02 食品科製菓・製パン分野 進路選択のきっかけは？

○中学校の時に体験入学などで多くの学校を見て、その中でもこの学校がいいなと思ったので決めました。

○将来、パティシエになりたいと思っていたことがきっかけです。

○お菓子作りが好きだったので、この学校に進学しました。

達成感ややりがいを感じる ことはどんなことですか？

○牛や犬、馬の世話をしています。主に環境整備が中心です。えさやり、ブラッシング、牛の糞尿の片付け、出産の手伝い、出産した後の仔牛の世話などがあります。この時期は暑いので、シャンプーもしています。

どんな実習をしていますか？

○動物に触れられることが何よりうれしいです。特に夏は匂いもきついし、暑い中での作業になります。また、冬は寒い中での作業なので、たいへんですが、それ以上に少しずつ動物たちとの距離が縮まってくるのが分か

ジェンダーの視点から

○他のクラスは男女比が半々くらいですが、このクラスはほとんどが女子のクラスです。男子は学年によっても違います。一人二人という学年もあり。友だちではできるし、男女比など気にするのではなく、自分のやりたいところに行けばいいと思います。

○就職活動の場で、「男の人を採用したいから」と言われることもありましたが、性別関係なく思うような仕事でも女性の採用がないのはなぜだろうと思っています。

○「女の子なんやから…」とよく言われますが、男なんやから、女なんやからということにとらわれすぎているのではないかと思います。その子らしさを大切にして応援してほしいと思います。

※1 ボロ出し…糞と尿とを畜舎外に搬出する作業

※2 除角…牛の角を取ってしまうこと。牛同士のケガを防ぐほか、人間へのケガの恐れも少なくなる

県立男女共同参画センターG-NETしが内に、女性の起業を一貫して支援する『G-NETしが女性の起業支援センター』がグラントオープンしてちょうど一年目の今年6月23日、『女性のためのオンラインマルシェ キックオフセミナー』を開催しました。今年度も更にパワーアップして女性の起業をトータルでサポートしていきます。



中継会場の様子

会場の様子



オンラインマルシェとは

オンライン上で開催するマルシェのこと。出店者・参加者同士が同じ会場にいるような臨場感で自身の商品を対面販売することができます。



参加者の声

自分の事業にオンラインがつながるのかと思っていましたが、物販がない方が多いと聞き、少し可能性が広がるなどと思いました。



今回の参加で、オンラインイベントがこんなに活発に活動し、動いていることを知りました。苦手なオンラインですが、いつまでも苦手とは言ってられないので、オンライン活動を本格的にしていける必要性を感じました。

リアルが復活してきた中、オンラインのイベントよりも対面でおっしゃる方が増えてきましたが、オンラインマルシェの形態はコロナに関係なく、まだまだ可能性があるな、と思いました。

長引くコロナ禍により、対面でのイベントやマルシェなどの開催が縮小傾向にある中、新たな販路開拓、販路拡大の手段として、国内でも「オンラインマルシェ」の取組が広がりは始めているところですが、この新しい販路開拓、販路拡大の手段として「オンラインマルシェ」を紹介し、その魅力を感じていただくとともに、販売が伸び悩んでいる方や、子育て・介護などにより時間制約のある方などに関心を持っていただき、自身の夢の実現に向けて取組を進めていただく選択肢の一つとして「オンラインマルシェ」を紹介していきたいと考えています。実際にオンラインマルシェに出店する際に必要な知識を学べる講座やフォローアップ相談も開催し、今後も、新たなチャレンジを支援していきます。

女性のためのオンラインマルシェ

女性の起業応援

G-NETしが女性の起業応援センター



昨年度オープンした「G-NETしが女性の起業応援センター」では、起業やステップアップする際に必要な知識を習得するためのセミナーの開催、コワーキングスペースの運営、チャレンジショップ体験や起業家同士の交流会の開催など、あらゆる角度から伴走型支援を行っています。本年度は、更にパワーアップさせ、セミナーを2クール開催し、定員オーバーでご参加いただけなかった方にも次の開催で受講いただけるようになりました。コワーキングスペースは、ご利用時間を増やし、夜間もご利用いただけるようになりました。また、専門家の助言を得ながら業務を進められる「オフィスマネージャー在室日」も増えています。ぜひ、センターホームページからご確認ください。



起業支援セミナーの様子



コワーキングスペースの様子

女性の起業ポータルサイト

出産、子育て、コロナ禍等により離職した女性が起業などの新しい働き方にチャレンジしたり、得意分野を活かした起業や社会課題解決にむけた起業などに挑戦するにあたり、必要な情報を効率よく入手できる起業に関する総合情報サイトを立ち上げ、女性の様々なチャレンジを総合的に支援していきます。センターホームページにあります右のバナーをクリックしていただきますと、サイトに移動します。ぜひ、ご利用ください。

G-NETしが女性の起業ポータルサイト



↑「女性の起業ポータルサイト」QRコードはこちら



講座REPORT

4月
↓
7月

講座

概要

第1回市町男女共同
参画担当職員研修
4/26(火)開催

令和4年度県の施策概要および啓発資料の紹介、市町の事例発表(大津市、彦根市、草津市、甲賀市、日野町)の後、県および市町担当者間の意見交換会を実施しました。

・各市町の担当者と顔合わせができ、取組についても知ることができました。

第1回相談員スキル
アップ講座
5/19(木)開催『DVIに関する事例から学ぶ法律知識』
講師：石田 達也さん(弁護士)

・DVやDVIによる離婚の具体的な事例をもとに、相談員としてどのように関わっていくかについて、参加者同士の意見交換を通して学び合いました。その後、DVや離婚に関する法律と具体的な支援について学びました。

第2回相談員スキル
アップ講座
6/30(木)開催『SNS相談の実際』
講師：遠藤 智子さん
(一般社団法人 社会的包摂サポートセンター 事務局長)

・SNS相談は国だけでなく、さまざまな自治体、民間で取り組まれるようになってきています。SNS相談の特徴やSNS相談を始めるための準備、実際の運営の方法に至るまで、具体的にお話いただき、今後更なる広がりが予想されるSNS相談について学ぶことができました。

第2回市町男女共同
参画担当職員研修
7/13(水)開催『防災対策に女性たちの力を
～なぜ災害対応に男女共同参画の視点が必要か～』
講師：相川 康子さん(NPO法人政策研究所専務理事)

・講師によるミニ講義では、阪神・淡路大震災、東日本大震災を踏まえ、防災分野へ女性たちの参画を促すことの大切さを学びました。ワークショップでは、参加の皆さんから出たキーワードについて3つのグループに分かれて意見交換をし、知恵を共有することができました。



令和4年度

講座REPORT

CHECK!!

講座

概要

公開講演会
(第1回G-NETほっと
セミナー)
6/26(日)『絵本から考える男女共同参画
～ニャーゴの優しさ・テラノの思いやり～』
講師：宮西 達也さん(絵本作家)

・講師ご自身の経験をもとに、読み聞かせなども取り入れながらお話しいただき、男女共同参画社会の実現に向けて考えるよい機会となりました。優しさや思いやりをもって今を一生懸命生きること、そして、まずは大人が人生を楽しむことの大切さを学びました。

第1回教職員さんかく
講座
7/26(火)開催第1講
『男女共同参画社会づくり副読本の活用について』
講師：成田 健さん(長浜北小学校教頭)

・「男女共同参画副読本」を活用した小学校5年生の授業実践をご紹介いただきました。この副読本は、各学校で男女共同参画についての授業を実践できるように作成され、県内全学校に配布されています。



小学生用

第2講
『性の多様性(LGBTQ)について考える』
講師：山崎 あおいさん
(Life hospitality management service代表)

・性の多様性(LGBTQ+)について基本的な知識や対応についてお教えいただきました。正しく理解されていないことも多く、また勝手なイメージ付けや何気ない会話や発言で傷ついておられる方がたくさんおられることとお話いただきました。幼少の頃からどのように過ごし、どんな思いをしてこられたのかご自身の辛い体験もお話いただき、「誰もが幸せに生きていくために」必要なことについて学ぶことができました。

最後に「特別扱いは望んでいません。みなさんと同じように不自由なく、制限されることなくトイレや更衣室を利用するなどしていただければ。人として、同じように生活していきたいのです。」と伝えてくださり、とても大切なこととお教えいただきました。



自分らしく
生きていくための
書籍・雑誌の紹介

図書資料室からの書籍案内



『アダム・スミスの夕食を作ったのは誰か？
これからの経済と女性の話』

カトリン・マルサル//著 高橋璃子//訳
河出書房新社 2021年

アダム・スミスが研究に勤しむ間、身の回りの世話をしたのは誰？女性の家庭内労働を経済の世界から排除し価値のないものとした女性不在で欠陥だらけの経済神話に対して、ユーモアを交えながらジェンダー目線でツッコミを入れた新しい経済本です。



『老後とピアノ』 稲垣えみ子//著
ポプラ社 2022年



50歳、人生後半戦、ずっとやりたくてできなかったことをやってみる。他人の評価はどうでもいい。エゴを捨て、自分を信じ、今を楽しむことの幸せをピアノが教えてくれた。老後を朗らかに生きていくエッセイ集です。

性の多様性 (LGBTQ+)

『マンガでわかるLGBTQ+』
パレットーク//著 ケイカ//マンガ
講談社 2021年



ひとりの青年がゲイであることを級友に暴露されて校舎から転落死した一橋大学アウトギング事件。この事件を一過性のものとせず、被害を防ぎ、これ以上「命」が失われないために、今、知っておくべきことは。



『あいつゲイだって
アウトギングは
なぜ問題なのか?』

松岡宗嗣//著
柏書房 2021年

図書・資料室

G-NETしが図書・資料室では、男女共同参画に関する図書や関連資料、DVDやビデオなど約6万冊の蔵書があり、貸出しをしています。レファレンスサービス、情報提供も充実しています。ぜひ、ご利用ください。



『産休・育休中の不安がスーッと解消される
がんばりすぎないお仕事復帰BOOK』



藤井佐和子/mamari//監修
KADOKAWA 2022年

妊娠、産育休そして復帰。—それぞれの時期でママが知っておきたい、押さえておきたいコツを紹介。がんばりすぎず、無理なくできるだけ仕事を続けるためのヒントが満載です。



『はじめて学ぶLGBT
基礎からトレンドまで』

石田仁//著
ナツメ社 2019年

今年度の『ジェンダー平等ミーティング』は、各回のテーマを第一回に参加したみなさんと話し合って決定しました。みなで話し合ってみたいテーマについて交流する中でジェンダーについて多くの視点があることに気づきました。出てきたテーマを集約しながら10のテーマに絞り込みました。



voice

化粧

学校で化粧をすると怒られるのに、社会に出ると「化粧をしろ。」と言われる。

服装

就職の面接時に、「女性なのにどうしてスカートをはいていないの。」「女性なら、ローファーじゃなくて、パンプスでしょ。」と言われた。

華があるって？

「食卓に女の子がいると華がある。」と言われた。みんなで食卓を囲むと性別にかかわらず楽しいはずなのに、男性の自分はいないものとされているのか。

女性は繊細？

就職活動で技術職を目指しているが、面接時に「女性は手先が器用だから大丈夫じゃないかな。」と言われた。女性だから繊細だということに違和感を感じた。

女子力？

ハンカチ、ティッシュをカバンに入れて、「女子力が高い」と言われる。悪い意味ではないと思うけれど、「女子力」とは一体何なのか。

6月29日に開催した『ジェンダーと偏見』の回に出た意見を少し紹介します。

ユースリーダーの活動



2022ジェンダー平等ミーティング

Check! 今年度の各回テーマ

- 「ジェンダーと偏見」
- 「性の多様性について考える」
- 「パートナーシップ制度の周知について」
- 「学校とジェンダー」
- 「化粧とジェンダー」
- 「就職活動と自分らしさ」
- 「仕事とジェンダー」
- 「海外と日本のジェンダーについて」
- 「ジェンダーとアニメ」
- 「ジェンダーと戦争」

11月は「仕事と生活の調和推進月間」です!

滋賀県では、事業者、労働者、NPO、行政など関係者が一体となって仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進等に取り組むため、「仕事と生活の調和・女性活躍推進会議しが」を設置し、職場や地域での実践、社会的気運の醸成等に取り組んでおり、11月を「仕事と生活の調和推進月間」と定め、県民一人ひとりがライフスタイルや職場環境を見直すことにつながる広報・啓発活動を集中的に実施しています。

仕事、家庭生活、健康・休養、地域生活、自己啓発、趣味など人生において大切にしている様々なことを、希望するバランスで、生活の中で展開できるよう、皆さんも自らのワーク・ライフ・バランスのあり方を考えてみませんか。



イラスト タカノキョウコ

女性の就労サポート

総合受付:0748-36-1831

滋賀マザーズジョブステーション・近江八幡(当センター内)



イラスト タカノキョウコ

- ★マザーズ就労支援相談コーナー・・・0748-36-1831
＜キャリアカウンセラーによる就労相談、保育情報の提供、各種講座の開催など＞
- ★母子家庭等就業・自立支援センター 0748-37-5088
＜ひとり親の方への再就職、転職、訓練、講習会など就業に関する相談や情報提供＞
- ★ハローワークマザーズコーナー・・・0748-37-3882
＜職業相談、職業紹介＞



☆長浜出張相談を実施しています。

毎週月曜日 10:00~15:00(長浜市北船町3番24号 えきまちテラス長浜2階 LOCO Living)
詳しくは総合受付(0749-53-4480)へお問い合わせください。

☆JR草津駅前にも相談窓口があります。

滋賀マザーズジョブステーション・草津駅前

総合受付:077-598-1480 草津市大路1-1-1 エルティ932 ガーデンシティ草津 3階
※休所日 土曜日・日曜日・祝日・年末年始



女性に対する暴力をなくす運動

国(内閣府)では毎年11月12日~11月25日を「女性に対する暴力をなくす運動」の期間として自治体と連携して周知啓発に取り組んでいます。

暴力は、その対象の性別や加害者・被害者の間柄を問わず、決して許されるものではありません。特に、配偶者等からの暴力、性犯罪・性暴力、ストーカー行為、売買春、人身取引、セクシュアルハラスメント等女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するものであり、男女共同参画社会を形成していく上で克服すべき重要な課題です。(令和4年度「女性に対する暴力をなくす運動」実施要綱より)

この運動をきっかけに、女性に対する暴力について考え、暴力のない社会づくりをすすめましょう。



◆滋賀県ではデートDV防止啓発冊子を作成し、HPに掲載しています。デートDVについて考えるきっかけにぜひご活用ください。



在宅ワークミニセミナー&交流会

参加費無料
eラーニングつき

パソコンやインターネットを使って主に自宅で仕事をする働き方「在宅ワーク」のポイントを学ぶミニセミナーと、参加者同士が気軽に自由に対話ができる交流会です。在宅ワークをこれから始めたい人も参加できます。また、自宅から受講できるオンライン参加も可能です。

会場開催

日時:2022年11/10(木)
10:00~13:00

会場:草津市市民交流プラザ
大会議室

託児:11月2日(水)までに
事前予約してください

オンライン開催

日時:2022年11/21(月)
10:00~13:00

※Zoomを使用いたします

内容

- ・在宅ワークミニセミナー
10:00~11:00
- ・交流会
11:00~13:00



【お申込み・お問い合わせ先】

株式会社キャリア・ママ
滋賀県女性の多様な働き方普及業務委託事務局
TEL:042-389-0220(受付時間 9:00~17:00 土日祝日除く)
FAX:042-389-0230

【主催】滋賀県 【後援】草津市、仕事と生活の調和・女性活躍推進会議しが

WEBページからも
申込可能です!

